

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	インタラクティブメディア設計学 (加藤 博一 (教授))		
学籍番号	2111010	提出日	令和 5年 1月 19日
学生氏名	阿部 将士		
論文題目	ARを用いたプレゼンテーション中のアイコンタクト技能の支援・訓練システム		
要旨			
プレゼンテーションにおける非言語技能は、プレゼンテーションの主観的な印象を決めるのに極めて重要な要素である。特にアイコンタクトは、発話しながら、複数の聴衆の位置を切り替えるという、特別な技能であることから、その会得には訓練が重要であると考えられる。しかし、プレゼンタのアイコンタクト技能を自動的に評価する手法に関する研究は少なく、具体的なスキルセットを学べるシステムや学習コンテンツは多くない。また、一般的な訓練においては、本番で利用できる技能を獲得するまでには、時間を要する。そこで本研究では、本番の環境でリアルタイムでのアイコンタクト技能を支援しつつ、継続的に利用することで訓練効果を得ることができる、支援効果と訓練効果を両立したARシステムを提案する。様々なプレゼンタのアイコンタクトの解析を基に適切なアイコンタクトの定義を行い、その結果から開発した支援システムに独自の訓練手法を取り入れることで提案システムを実現した。そして、疑似的なプレゼンテーション環境で提案システムを使用することで、その有効性を確認する実験を実施した。その結果、プレゼンテーション中に取得した視線データを用いた定量評価から、本システムの支援効果および、訓練効果を確認することはできたが、システムの非使用時と比較して顕著な違いは確認できなかった。プレゼンテーション技能を評価する客観的指標によるとアイコンタクト技能の改善には本システムの利用が有効である傾向が見られた。			